

「同事協力」♡助け合う心をそだてる♡

「同時」ではなく「同事」という言葉には、同じ時に同じ事を協力して行うという意味があります。力を合わせて何かに取り組むと、自分ひとりではできないこともふたりならできます。ふたりでできないことも大勢ならできます。みんなで助け合うことによって、思いもかけない大きな仕事ができることを感じとれさせていきましょう。

園は集団生活です。生活も行事もお互いの協力がなければ成り立ちません。ひとりひとりの同事協力によっていい関係が作られ、お互いの理解が深まり、安心感も生まれ、自分も嬉しい気持ちになります。子どもは生活の中でそのことを感じ学んでいるはずですが、それはまだまだ無意識の段階です。園生活での体験を大切に積み重ねてお互いに助け合う気持ちを育てていきたいと思えます。

げんきっこ  R4・9・22 

運動会について

- ・検温は家族が揃ってから済ませて下さい。
- ・優先席への移動と並行して器具の設置を行いますので、競技スペースには入らないようにして下さい。
- ・一緒に応援されている時にも子どもから目を離さないようにして頂き、安全に運動会が開催できるようご協力お願い致します。
- ・体育館内は、椅子の使用は禁止です。
- ・靴は体育館前のブルーシートにクラス別に並べて置いて下さい。
- ・親子競技の際にはケガの防止の為、裸足で参加して下さい。
- ・応援席は入れ替え制ですので、朝の場所取りに並ぶのは禁止とさせていただきます。

ご理解・ご協力宜しくお願い致します。

おたんじょうび おめでとう

♡9がつの誕生日会♡

7名の子どもたちのお祝いをしました。お楽しみは渡邊先生が秋に美味しい食べ物を使ったゲームをしてくださいました。身体を動かし、友だちを応援しながら楽しい時間になりました。



10月10日は目の愛護デーです

●身体を動かすと目も育つ

脳や身体がめざましく成長する乳幼児期には、目(見る力)も同じように育っていきます。生まれたばかりの赤ちゃんの視力は、明るさや動きをぼんやり見分ける程度だと考えられていますが、脳が発達するにつれて、見ているものが何かということが分かるようになっていきます。同時にハイハイやお座り、つかまり立ち一人歩きなど身体能力の発達とともに立体的に見る力、動くものを見る力など様々な「見る力」が育っていきます。外に出ていろいろなものを見たり、身体を動かして遊んだりすることが「見る力」の発達に繋がっているのです。

●こんな症状に要注意

子どもは自分が見ている景色や物が当たり前のものと思っているので、自分から「こんな風に見えるのはおかしいかな?」と感じることが難しいです。見えにくい状態を見方を変えて補おうとしている場合もあります。視力の発達は個人差はあるものの8歳頃にピークを迎え、生涯の視力が決まると考えられています。周りの大人が早期発見をしてあげ、適切時期に適切な治療をすることが大切です。



●応急処置「目にゴミが入ったら!!」

※必ず清潔な手で行いましょう。

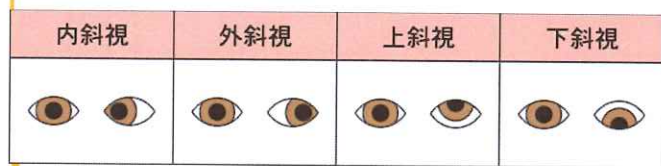
まぶたの下に異物がある場合…

「あかんべえ」をする要領でまぶたを引き下げ、流した水道水で洗い流す。水で洗い流せない時は清潔なガーゼや綿棒を水で濡らしそっと異物を取り除きます。

まぶたの上に異物がある場合…

まぶたをひっくり返すように引き上げ洗い流す、または容器に水を溜め、まばたきをする。水で洗い流せない場合は清潔なガーゼや綿棒を濡らし異物をそっと取り除きます。

※目に入った異物は涙で目から出されることが多いですが、痛みや充血などの症状が続く場合には病院で受診をするようにしましょう。



左目が内を向いている 左目が外を向いている 左目が上を向いている 左目が下を向いている  
右目を正常な位置とした斜視の種類

10月20日は健康診断11月16日は歯科検診です  
診察結果をお渡しします。異常があった場合には、  
かかりつけ医と相談して治療等を進めましょう。

お知らせ

10月14日は、ばら組の「わくわくドキドキ保育」です。  
この日のばら組の活動は、通常の保育時間を延長して行います。その為、並行した延長保育の実施が困難なことが予想されます。延長保育の登録をされているご家庭で14日に延長保育を希望される場合は、**事前に担任にお知らせ頂き**、体制を整えて対応させて頂きたいと思っておりますので、宜しくお願いします。  
また、わくわくドキドキ保育終了時間を21時としております。疲れも出やすいと思っておりますので、ばら組で翌日の15日(土)の保育利用を検討される方は、いつも以上に健康観察をして頂いた上で、登園して頂きますよう宜しくお願い致します。